

2022年（令和4年）3月2日（水曜日） 中日新聞 13面 知多版にて
当社新入社員 SDGs 活動が掲載されました。

半田市に110万円寄付
瀧上工業

橋梁をはじめ鋼構造物の設計・施工などの「瀧上工業」（半田市神明町）が、半田市へ百十万円を寄付した。寄付金は、七月に予定されている市制八十五周年事業「衣浦みなとまつり花火大会」開催のため役立てられる。

寄付のうち十万円は、新入社員が募金活動で集めた。持続可能な開発目標（SDGs）にちなむ活動の一環として、募金箱には



瀧上工業の新入社員ら。代表の瀧上さん（右から2人目）が久世市長（中央）へ寄付金の目録を手渡した。半田市役所で

JR武豊線の高架化工事で生じた伐採木を用いた。同社では例年、SDGs活動の一環で、自然を利用した省エネルギー策「緑のカーテン」を社屋に導入。新入社員がゴーヤー栽培に携わってきた。ただ今回は新入社員が少なかつたため、募金活動に方針転換。社内など計三方所に約半年間、伐採木で作った募金箱を設置したという。

市役所で開かれた寄付贈呈式には、同社の新入社員らが出席。代表して瀧上泰一郎さんが「自分たちに何ができるかを考えた。地域のために活用していただけたら」と話し、久世孝宏市長へ目録を手渡した。